

令和4年度行政事業レビューシート ( 総務省 )

事業名	地方議会の活性化に要する経費			担当部局	自治行政局		作成責任者		
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	行政課		課長 田中 聖也		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第1項第16号			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地方分権の進展に伴う地方公共団体の自己決定権と自己責任の拡大等に適切に対応するため、地方公共団体の意思決定、執行機関に対するチェック機能等の地方議会が果たすべき役割は大きくなっている。また、住民に身近な地域の問題を取り扱う地方議会においては、若者や女性といった多様な人材の参画がますます重要になっている。このような中、総務省において、地方議会のあり方や多様な人材の参画のための方策等について意見交換を行うシンポジウムを開催し、地方議会の活性化に資することを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	多様な人材の参画、地方議会の運営のあり方、調査研究・政策立案機能の充実など、社会の変化を踏まえたテーマ設定のもと、地方議会活性化に関心のある地方議会議員、事務局職員等を対象にシンポジウムを開催し、有識者による基調講演やテーマに関する事例を紹介するパネルディスカッション等を通じて、地方議会が抱える課題及びその解消に向けての方策等について、先進的な取組事例を共有するとともに広く情報発信する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算の状況	当初予算	15	13	11	11	11		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		15	13	11	11	11		
	執行額		9	2	3				
執行率(%)		60%	15%	27%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		60%	15%	27%					
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	庁費	10.5	10.5						
	職員旅費	0.5	0.5						
	その他	0	0						
	計	11	11						
活動内容(アクティビティ)	地方議会活性化に関心のある地方議会議員、事務局職員等を対象にシンポジウムを開催する。								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	シンポジウムの開催	シンポジウムの開催回数	活動実績	回	1	1	1	-	-
			当初見込み	回	1	1	1	1	1
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	シンポジウムの執行額/シンポジウムの開催回数	単位当たりコスト		百万円	6.7	2.3	3	8.8	
		計算式		/	6.7/1	2.3/1	3.0/1	8.8/1	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
	目標値(参加者数)を達成する。	シンポジウムの参加者数 ※令和2年度及び3年度についてはオンライン開催であったためアーカイブ動画の再生回数の合計(令和4年8月9日現在、単位:回)を記載	成果実績	人(回)	418	851	2,533	-	-
			目標値	人(回)	400	800	800	-	-
			達成度	%	105	106	317	-	-

根拠として用いた統計・データ名 (出典)		地方議会活性化シンポジウム2021開催報告書 地方議会活性化シンポジウム2020開催報告書 地方議会活性化シンポジウム2019開催報告書 総務省YouTube「地方議会活性化シンポジウム」チャンネル		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載				チェック
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	Ⅱ. 地方行財政	
	政策評価	施策	1. 分権型社会にふさわしい地方行政体制整備等	政策評価書 URL https://www.soumu.go.jp/main_content/000766411.pdf
				該当箇所 1ページ目
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-
(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:			-	-
		該当箇所	-	-
事業所管部局による点検・改善				
		項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、地方分権の進展に伴い、地方議会の役割が増大している中、総務省が地方議会に関する制度の所管省庁として、地方議会の活性化を図ることを目的としてシンポジウムを行うものであり、広く国民のニーズがあるものである。
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	同上
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	同上
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	支出先選定の際に、複数の参考見積りを精査した上で一般競争入札を用いており、競争性の確保に努めている。
		競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	支出先選定の際に、複数の参考見積りを精査した上で一般競争入札を用いており、競争性の確保に努めている。
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	複数の参考見積りを精査した上で、事業目的に即した必要なものに限定して支出している。
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からシンポジウムをオンライン開催とし、実地開催に係る経費が大幅に縮減されたため。
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	令和2年度は委託業者が所有するスタジオが会場となった一方、感染症対策及び登壇者・事務局の控室確保の観点から令和3年度はホテルを会場としたため、会場費が増加することとなったものの、複数の候補の中から最も価格の低いホテルを選定し、可能な限りホテルの備品を活用するなど、必要最低限の支出となるよう委託業者と適宜相談し、コスト削減や効率化に努めた。	
事業の有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果実績が成果目標を大きく上回った。
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みどおりの活動実績となっている。
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	・開催を通じて、地方議会議員が都道府県・市町村の枠を超え、地方議会が抱える課題等を共有することができた。 ・成果物である報告書は、政策立案の際の資料として活用するとともに、議会活性化のための資料として活用されるよう、全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会、各都道府県議会事務局及び各指定都市議会事務局に送付している。 ・オンライン開催としたシンポジウムについては、アーカイブ動画が視聴可能となっており、一定の視聴回数があることから、成果物として活用されているといえる。

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-
	事業番号			事業名	
点検・改善結果	点検結果	<p>シンポジウムは、地方議会議員及び事務局職員が都道府県・市町村の枠を超えて地方議会が抱える課題及びその解消に向けての方策等を共有するものであり、地方議会・議員のあり方や多様な人材の地方議会への参画を促進する方策等に関して先進的な取組事例を共有することなどにより、地方議会の活性化を図ろうとするものである。令和3年度においては、「令和時代を担う地方議会—調査研究・政策立案機能の充実に向けて—」をテーマに、地方議会の果たすべき役割や今後のあり方等について意見交換を行った。これは事業目的を達成するために必要なものであり、支出先の選定においても競争性を確保するなど適切な執行を行っている。</p>			
	改善の方向性	令和3年度の事業の成果を踏まえつつ、予算の適切な執行に留意しながら、地方議会の活性化に資する事業を引き続き行うこととする。			
<b>外部有識者の所見</b>					
点検対象外口					
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>					
事業内容の一部改善	オンライン開催ではなく実地開催を行うことの必要性について今後検討を行いつつ、更なる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。				
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>					
執行等改善	オンライン開催の場合、成果物としてのアーカイブ動画を通じてシンポジウムの議論の様態を広く発信することが可能である一方、共催団体である全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会及び全国町村議会議長会が行う大会と連携して実地で開催することにより、より多くの集客や効果的な情報発信が見込まれる場合もある。今後も地方議会の活性化に資する事業に不断に取り組む必要があることから、広く一般に情報発信する方策等、より効果的な手法を検討しつつ、オンライン開催及び実地開催のメリット・デメリットを踏まえた事業内容の一部改善も視野に、引き続き適正な予算執行に努める。次年度予算要求においては、実地による開催に必要となる予算を確保するため前年度同額で概算要求したところである。				
<b>備考</b>					
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>					
平成23年度	-				
平成24年度	-				
平成25年度	新25-0001				
平成26年度	0008				
平成27年度	0007				
平成28年度	0007				
平成29年度	0007				
平成30年度	0006				
令和元年度	総務省	-	0006	-	00
令和2年度	総務省		0006	-	00
令和3年度	2021	総務	20	0006	

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

<b>資金の流れ</b> (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	総務省 3.0百万円					
	【一般競争入札(最低価格)】 A.(株)ツクルス 3.0百万円 (地方議会活性化シンポジウム2021の運営業務)					
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	庁費	地方議会活性化シンポジウムに関する請負業務	3			
計	/		3	計	/	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					<input type="checkbox"/> チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ツクルス	7011601017458	地方議会活性化シンポジウム2021の運営業務	3	一般競争契約 (最低価格)	2	100%	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	